



麻績村の取り組み

麻績村ホームページ



麻績村では、昭和62年に民間路線バスが廃止となったため、同年10月から村営バスとして運行しています。現在、路線バスは朝夕のみ運行し、聖高原駅への通勤・通学の移動を維持しています。日中の時間帯は、村内の2地域について、週に2日の運行日を設定した地域循環バスにより、中心部の主要施設への移動を確保し効率的な運行に努めているほか、1地域については、令和7年4月からデマンド型バス(予約型の乗り合いバス)に切換え、利用しやすい環境の整備を進めています。

| バスの名称 | 運行形式 | 路線名 |
|-------|----------------|---|
| 村営バス | 定時定路線バス(朝・夕のみ) | ●滑沢線 ●榊内線 ●聖高原線 |
| | デマンド型乗合バス | ●滑沢線経由便(月、木曜日のみ運行) |
| | 地域循環型バス | ●榊内線経由便(火、金曜日のみ運行) ●聖高原線経由便(水、土曜日のみ運行) |



生坂村の取り組み

生坂村ホームページ



生坂村では、民間事業者により運行されていた犀川線が廃止となったため、村営バスに切り替えて村内と明科駅を結んでいるほか、池田町営バスであった池坂線を令和5年4月から引き継いで村営バスとして運行し、村内から池田町を結んで通院や買い物などの足を維持しています。また、周回デマンドバスを運行し、路線バスに接続することにより、住民のスムーズな移動に努めています。

| バスの名称 | 運行形式 | 路線名 |
|--------------|---------|-----------|
| 生坂村営バス | 定時定路線バス | ●犀川線 ●池坂線 |
| 生坂村営周回デマンドバス | デマンド | ●北回り ●南回り |



筑北村の取り組み

筑北村ホームページ



筑北村では、朝夕は村営路線バスを運行して西条駅・坂北駅・聖高原駅への通勤・通学の移動を維持し、日中の時間帯は令和6年4月から時間帯別デマンド型乗合バスを運行し、買い物などの足として、より利用しやすい効率的な村営バスの運行に努めています。

| バスの名称 | 運行形式 | 路線名 |
|-------|--------------------|--|
| 村営バス | 定時定路線バス(朝・夕のみ) | 本城地域 ●乱橋線 ●河鹿沢線 ●西条温泉とくら線 坂井地域 (聖高原⇄真田) |
| | 時間帯デマンド型乗合バス(日中のみ) | 本城地域 ●乱橋線 ●河鹿沢線 ●西条温泉とくら線 坂井地域 (聖高原⇄真田) |



長野県PRキャラクター「アルクマ」
©長野県アルクマ

誰でも利用できる路線バスやデマンドバスを将来に渡って維持していくために…

私たちができる具体的なアクションは…

運転に不安を感じている高齢者の皆さま
免許返納も見据え、ご自分の地域の路線バス・デマンドバスを利用してみませんか？

毎日車で通勤している皆さま
週に一度はバスや鉄道を利用して通勤してみませんか？

休日のお出かけに、バスや鉄道を利用して移動してみませんか？

令和7年(2025年)長野県松本地域振興局作成

乗って残そう、乗って活かそう！ みんなのバス！！

松本地域の路線バスの状況はどうなっているの？

松本地域の路線バスは、以前は民間の交通事業者が運営していましたが、**利用者の減少**による経営状況の悪化等により、現在ほとんどの路線バス(一部観光路線バスを除く)の**運営主体が市村**となっています。

通学や通勤などの利用者が多い朝夕の時間帯を除き、**利用者が少ない日中はデマンド化するなど、その維持に苦心**しています。

路線バスやデマンドバスは、高齢者や学生等の通院・通学・買い物などの**生活の足として必要不可欠**です。
しかし、**利用者の減少等が収支の悪化**を招き、これによりサービス水準が低下して、**さらに利用者が減少**しています。

私たちにできることってなんだろう？



長野県PRキャラクター「アルクマ」©長野県アルクマ



長野県松本地域振興局

松本市・塩尻市・安曇野市・麻績村・生坂村・山形村・朝日村・筑北村

～ 路線バス・デマンドバスの維持・確保に向けた、市村の取り組みをご紹介します ～

生活圏をともにする松本市、山形村、朝日村では、1市2村共同で路線バスネットワークの再構築を行い、利便性の向上や、持続可能な公共交通網の維持・確保を図っています。



松本市の取り組み

松本市ホームページ → 

松本市では、令和5年4月から路線バスの公設民営化事業「ぐるっとまつもとバス」を開始し、松本市・山形村・朝日村エリアを一括して市が路線や便数等のマネジメントを行っています。また、令和5年4月以前に民間事業者によるバス運行が廃止された路線については、地域住民が運営主体となり、市の補助金制度を活用して地域バスを運行しています。令和7年4月からは、寿エリアと梓川エリアでデマンドバス「のーと松本」の本格運行を開始しました。

| バスの名称 | 運行形式 | 路線名 |
|------------|----------|---|
| ぐるっとまつもとバス | 定時定路線バス | <ul style="list-style-type: none"> ●信大横田循環線 ●横田信大循環線 ●浅間線 ●新浅間線 ●美ヶ原温泉線 ●北市内線 ●岡田線 ●アルプス公園線 ●鹿教湯温泉線 ●空港今井線 ●大久保工業団地・神林線 ●山形線 ●寿台線／松原線／内田線 ●並柳団地線 ●四賀線 ●南部循環線 ●合庁ライナー |
| | | タウンズニーカー（松本周遊バス）北コース・東コース・南コース |
| 地域連携バス | 定時定路線バス | <ul style="list-style-type: none"> ●松本・島内線 ●南松本・山形線 ●村井・山形線 ●朝日・波田線 ●梓川・波田線 ●南松本・平田線／平田・村井線 |
| 市営バス | 定時定路線バス | ●四賀循環線 ●奈川・安曇線 |
| のーと松本 | A1デマンドバス | ●寿エリア ●梓川エリア |
| 地域バス | 定時定路線バス | ●波田循環バス ●ほしみ線 ●中山線 ●入山辺線 |
| | デマンドタクシー | ●島内川東乗合タクシー |
| 交通空白地有償運送 | 定時定路線バス | ●浅間・大村線 |



山形村の取り組み

山形村ホームページ → 

山形村は、民間路線バスの廃止を受け、平成19年度以降、松本市と共同で生活に必要な路線バスを確保してきました。村外へ移動する路線バスについては松本市、朝日村と連携して確保するほか、村内の移動については福祉バスを、高校生の通学の足として村内から広丘駅を結ぶ直行バスを村営で維持しています。

| バスの名称 | 運行形式 | 路線名 |
|------------|-------------|----------------------------|
| ぐるっとまつもとバス | 定時定路線バス | ●山形線 |
| 地域連携バス | 定時定路線バス | ●朝日・波田線 ●村井・山形線 ●南松本・山形線 |
| 山形村福祉バス | 定時定路線バス | ●南ルート（大池・小坂方面） ●北ルート（竹田方面） |
| 山形村広丘駅直行バス | 直行バス（朝1便のみ） | 山形村役場→広丘駅 |



朝日村の取り組み

朝日村ホームページ → 

朝日村は、民間路線バスの廃止を受け、令和3年度以降、松本市や山形村と共同で生活に必要な路線バスを確保してきました。村内とJR広丘駅を結ぶバスと、村内全域や近隣市村へのアクセスを結ぶデマンドタクシー等については、村営で維持しています。

| バスの名称 | 運行形式 | 路線名 |
|-----------|----------|--------------------------------------|
| 村営バス | 定時定路線バス | ●朝日・広丘線 （朝日→広丘駅は朝に特化、広丘駅→朝日は夕に特化） |
| 地域連携バス | 定時定路線バス | ●朝日・波田線（朝日→波田駅は朝のみ） |
| くるりん号 | デマンドタクシー | 村内全域 |
| 朝日村営買い物バス | 定時定路線バス | ●火曜日：古見・小野沢方面 ●木曜日：針尾・西洗馬方面 |



塩尻市の取り組み

塩尻市ホームページ → 

民間バス路線の撤退により、平成11年から市営の地域振興バス「すてっぷくん」を運行しています。併せて、利用者の減少や利用者ニーズの多様化、ドライバー不足などの課題解決に向けた新たな取組みとして、デマンドバス「のーと塩尻」を令和3年から導入し、運行エリアを順次広げてきました。

また、暮らしがより便利になる公共交通を目指して自動運転サービスの導入に向けた実証実験を進め、令和7年度から、隔週の金曜日と土曜日に、駅や市役所、商業施設などを結ぶ自動運転レベル2での自動運転バスの定常運行を開始しました。将来的には自動運転レベル4での運行を目指しています。

| バスの名称 | 運行形式 | 路線名 |
|--------|----------|--|
| すてっぷくん | 定時定路線バス | <ul style="list-style-type: none"> ●榎川線 ●北小野線 ●洗馬線 ●宗賀線 ●片丘線 ●塩尻北部線 |
| のーと塩尻 | A1デマンドバス | <ul style="list-style-type: none"> ●大門エリア ●桔梗ヶ原エリア ●洗馬エリア ●塩尻東エリア ●広丘エリア ●広丘高出エリア ●吉田エリア ●片丘エリア ●松本エリア |



安曇野市の取り組み

安曇野市ホームページ → 

安曇野市では、一部の路線を除いて民間路線バスが廃止されており、合併前の旧町村ごとに運行されていた各種バスが混在している状況でした。

平成19年9月から、全国に先駆けて全市を対象としたデマンド交通システム「あづみん」を導入し、ドアツードア方式を維持するとともに、令和4年11月から予約専用アプリ「のーと」を導入、令和7年3月からは「乗換案内アプリ（ジョルダン）」において、鉄道やバス等の公共交通での経路検索の際に「あづみん」の検索・予約を可能とするなど、利便性向上に向け改善を重ねています。

また、朝夕の大糸線と篠ノ井線の接続を図るため、2路線の定時定路線バスを運行しています。

| バスの名称 | 運行形式 | 路線名 |
|-------------|----------------|--|
| 安曇野市バス | 定時定路線バス（朝・夕のみ） | ●穂高駅・明科駅路線 ●豊科駅・田沢駅路線 |
| あづみん／のーと安曇野 | A1デマンドバス | <ul style="list-style-type: none"> ●豊科地域運行エリア ●穂高地域運行エリア ●三郷地域運行エリア ●明科地域運行エリア ●堀金地域運行エリア |